

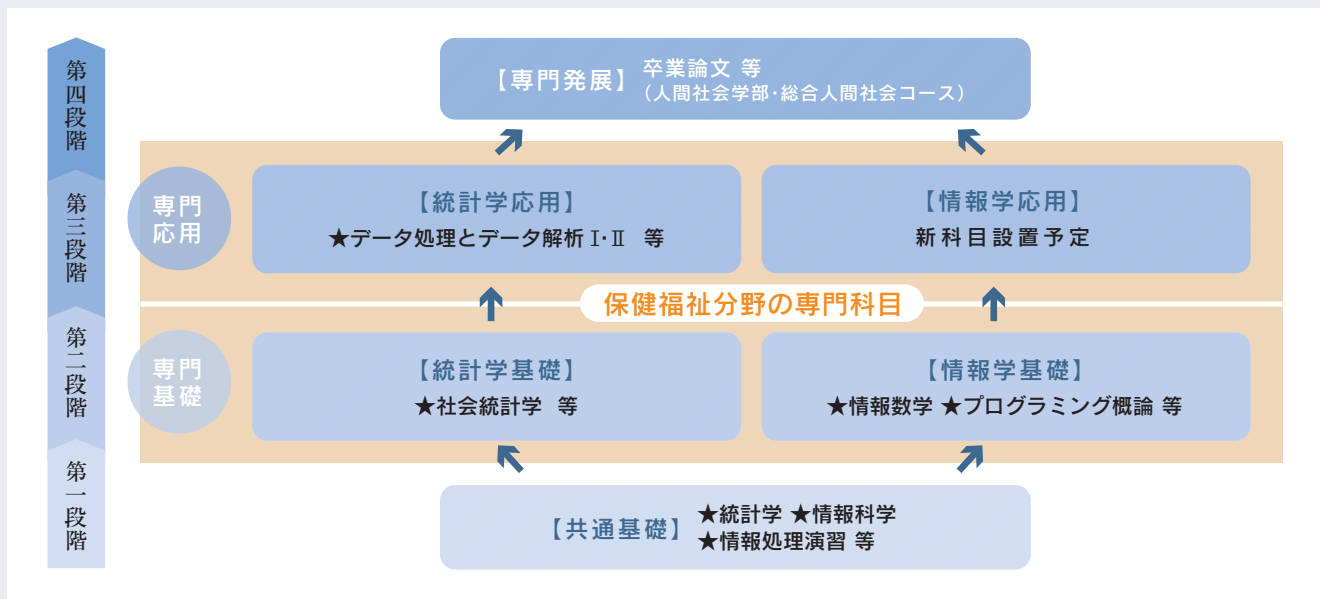


保健福祉情報教育プログラム

統計・情報の知識を、保健福祉分野での課題解決に活用できる力を養う

本プログラムでは、保健福祉（保健、医療、福祉、教育、心理、社会、経済等）分野の専門家として、調査・研究を行う際に、必要不可欠となる統計的手法や高度な情報技術を修得するために、統計学、情報学を系統的に学ぶことができます。

第一段階（**共通基礎**）として数学、統計学、情報学、情報処理の基礎を学習し、第二段階（**専門基礎**）として各専門領域の統計学・情報学の基礎を学習し、第三段階（**専門応用**）として、各専門領域の統計・情報学演習を学習することにより、統計学、情報学の知識やスキルを保健福祉の各専門分野での課題解決に応用できる力が養われます。人間社会学部では、第四段階（**専門発展**）として3年次に総合人間社会コースを選択し、卒業論文等に取り組むことも可能です。



正課外教育

☆情報処理関係資格取得支援プログラム (MOS資格取得講座 等)

関連資格

上級情報処理士、MOS資格、社会調査士、認定心理士

★プログラミング概論

2年次 / 2単位

コンピュータプログラミングの基本的な技法を習得します。代表的なプログラミング言語を例にして、プログラミングの基本的な概念(データ型、入出力、演算子、分岐、反復、関数、配列、ポインタなど)やアルゴリズムを解説します。コンピュータを使った演習を取り入れながら進めることで、プログラミングの手法を身につけることができます。

★データ処理とデータ解析Ⅰ

3年次 / 1単位

保健福祉分野の専門家として調査・研究を行う際に必要となる統計的手法を学習します。量的・質的データの基本統計量や度数分布、各種の検定法、量的データの変量解析を学びます。グループ単位でミニ調査を実施し、統計解析を行い、報告書を作成します。

上級情報処理士

本学の所定の単位を修得すれば、上級情報処理士の資格を取得することができます。上級情報処理士は、全国大学実務教育協会が認定する資格です。上級情報処理士の資格を取得することは、コンピュータを使いこなせる技術が身についたことの証になり、企業にとって、学生の情報処理能力を客観的に評価できる一つの材料となります。

MOS資格

マイクロソフトオフィススペシャリスト

Microsoft OfficeやオペレーティングシステムWindowsについての操作スキルの認定資格が、「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)」です。Microsoft Officeは、現在、多くの職場で活用されている代表的なアプリケーションソフトです。この認定資格は、企業での認知度が高いため、就職活動前に取得しておきたい資格です。

上級情報処理士



高木 梓沙さん

人間社会学部 公共社会学科 4年
県立下関南高校[山口]出身

私は、就職活動に役に立つ資格を取りたいと考え、上級情報処理士の資格を取得しました。IT化が進む社会において、インターネット活用やデータ管理など、働くうえで情報の知識は不可欠であり、上級情報処理士の資格取得は企業にアピールするポイントになります。

資格取得を考えている方は、資格取得をお勧めします。将来必ず役に立つ情報の知識を学ぶことができますよ。

Voice